

海
川

215
2057
32

準
貴

23
UNIVERSITY OF TORONTO

申り月久い乃ざいけとるまよくく屋門七や
 ぞぞくまきらあまおまらるれ屋門くや
 雲いまのさくひめがやらのほくまのさくや
 卯ふらん夏いもくまきいあまきいが屋門秋い
 くらさくつめが屋門冬いまふもゆきい下り
 かせがやのくそむきいけ連





船の沖と見え渡せば舟小かうくうのりま持さうに
 とうやひいし海江の橋はふいだりやうらひ
 まうとやともいそそもあは海さいふなにかうら
 ゆんろ。名はけくあゆみ強くこふきやハ流れ
 うあひまんそくせりてふとうのほぐれを
 さうしくもぐの勢よちるやれ神とあり
 かぎも祓^{ちん}ま^つしめの内くらのをこる
 渡^りもあ^り

うらめづくちき母りや。よわとこしやうらめ
ましくして大佛をやうとのべうせうまひ。此
才者たを乃右大御。一證あからせ給ひ。若侍
つとこ十人。お衆つつとこ十人。女人比々んとと
尸給えをあらちうの人こよ。あてをこまし。せ
給ふ。中一おもお衆つはらさ。とほ。梅原比平三京
時。一くごさきまら。成。嫡子の源太。一ゆづり
源を目と。海りりり。そぎ。必ふくざり。ひ事
枝。源。P。さそ。る。る。き。う。く。大名。小名。て。う。ま。や。う。も。
り。の。き。う。一。づ。き。ま。ら。先。初。数。れ。ざ。ら。ま。や。う。ゆ。は。

わうらんの山とわうくも。半よりんろ。れ。酒。成
の。連。不。死。乃。業。と。く。名。符。銀。の。さ。か。小。金。れ。は。く。る。を
成。結。さ。げ。ら。う。ひ。は。く。る。を。よ。そ。き。成。く。む。さ。げ。お
あ。ま。う。こ。の。威。埴。あり。う。こ。き。人。ら。人。ら。分。付。ま。い
あ。ま。い。さ。り。の。程。ま。い。ま。む。を。ち。あ。ち。の。だ。め。さ。う。と
あ。う。ね。ま。び。人。よ。な。あ。い。と。酒。れ。い。と。く。也。わ。う
ら。ん。の。山。の。う。人。あ。ら。あ。ん。う。う。ら。こ。ま。ま。き。ん
か。の。る。一。さ。う。ぬ。の。志。井。あ。く。く。ら。ゆ。こ。う。あ。ん
せ。い。の。く。ら。と。わ。も。皆。ら。う。く。よ。あ。り。は。ま。て。



そのちりひいよゆと減るす謙かたふ不死死 此ら守
 りぞとあひとすしめてまひしるる二日此日
 のざんまやうめらうるみの救とあ川めらんれ
 りとやううのるそまうひりく權けん後ご卷まきらうしうるみいん名なる
 の救とそりく思ひしく小むらまきり三日此
 日のざんまやうめらひあのい海うみふでふしとあて
 けもまのくしとぞやしきんきん系けいええ取とまうの水れ
 湯ゆ方かたおおううせせ給たまふふも上人じゆんこの水の方かたももううな湯
 統すととししととややししきききき 船ふね乃のううへへううががいい致いたた
 ううかかぶぶりりきき志しととんんらら日ひ里りりりくく後ごりりうう



うららんきぢうしむぎそそがさしのよふ
あやとあま まふよめしきとさげぬきけ。
浦吹風うらかぜなるうよううして板津云いとうぐもい浦うら此西小
浮かぬらんらんらんらん。あんなのまひろさし
とそきんらん乃盛くそぞささきげららぬの
六郎あは鏡かがみのやくとそぞきん。あらぬま
の六郎の網拍子あみうしの盛く也持系とぢけい此源げんた系けい糸いとい
ふんこ乃やくとぞぞきん内まんらうゆけ
びく三面さんめんしく二ちやうまん乃しくの盛きとけ
わ乃内者引ゆふ。一めんのびくとけわ糸いとあけ

内様は、そのすけれ内様と、うんとあ
 らひをり。きんらまんり、まきまき、あ
 うらよも也。ふんらのうへの森ちごうら
 どの二男あぢり、どのとやして十三よあり
 終ふ。くまうそごらのめいとうなりたれ
 とうけとり乃たらさうらどの、はくわら
 敷しちごい十八人、九人、はくわら
 右乃森とまひ終ふり、まきまきひるよなり



勢王せうおう小一せういちねりきんまやうらくれう一あ一た
 とうのちひのちらえしじんうんとめはた
 うひまま海うみ波なみはなめめけけららくくことりまよよ羽
 ね一ね波なみ連つらええままううくく波なみめめううささだだ教くわう目め三さん日じつぞ
 ちふくろきん打うををふふくくええううななははららええねねささらら
 のまやうも也天人者あまうくくろり勢神ハ浮あら
 ねまやうたうおめくろらん。けもんくちれ
とまううららままくく安やすららううらら終しゆうふふ由ゆおおのの人ひとくく波なみ雨
 終しゆうりり雨う知ち入いととくくううままくくききれ

